ユーザーズガイドの記述に一部誤りがありましたので、ユーザーズガイドの差し替えを行います。

製品に添付のユーザーズガイドにおきまして、以下の【記述箇所】を参照する場合は、本ドキュメントと読み替えてご使用ください。

【記述箇所】

第三編 システムのセットアップ
「再セットアップ」
「システムの再インストール」
「再インストール手順」

第四編 二重化構成について
「二重化構成の再セットアップ」

３．システムのセットアップ

P.89　※修正内容には下線をつけています。

<誤>

ポリシーの作成を行う。

<あらかじめバックアップしておいた設定をリストアする場合>

以下のコマンドを実行して FireWall-1 の設定をする。

<正>

ポリシーの作成を行う。

<あらかじめバックアップしておいた設定をリストアする場合>

コマンドを実行する前に、バックアップを取得した際のFireWall-1 HotFix
適用状態までHotFixを適用する。

以下のコマンドを実行して FireWall-1 の設定をする。

４. 二重化構成について

P.130　※修正内容には下線をつけています。

<正>

二重化構成の再セットアップ

二重化構成の場合の再セットアップについて説明します。
次の手順に従って再インストールします。

・管理サーバ

Express5800/FW300 または FW500 を管理サーバにしている場合の FireWall-1 管理サーバの再インストールについて説明します。

1. 3 章の「再インストール」 -「 再セットアップ」の手順 9 までを行う。
2. 4 章の「FireWall-1 管理サーバのセットアップ」 「- FireWall-1 管理モジュールのコンフィグレーション」を行う。
3. 3 章の「再インストール」 -「 再セットアップ」の手順 11 を行い、管理サーバへバックアップをリストアする。
   リストアする前にバックアップを取得した際のFireWall-1 HotFix適用状態までHotFixを適用してください。

・Firewall 本体

Firewall 本体の再インストール方法について説明します。

1. 3 章の「再インストール」 -「 再セットアップ」の手順 9 までを行う。
2. 4 章の「Firewall本体のセットアップ」 「- FireWall-1 のコンフィグレーション」を行う。
   バックアップを取得した際のFireWall-1 HotFix適用状態までHotFixを適用してください。

・セキュリティポリシーをインストール

セキュリティポリシーの再インストールについて説明します。

1. SmartDashboardから管理サーバへ接続し、Firewall-1 管理サーバとFirewall本体との通信設定を行う。

FireWall-1 管理サーバとFirewall本体との通信を行うための設定については、4 章の「セキュリティポリシーの設定」 -「 Firewallオブジェクトの作成」を参照してください。

2. Firewall本体へセキュリティポリシーをインストールする。

3. 運用系Firewall、待機系Firewallの順で再起動する。

ロードシェア機能を使用している場合は、再起動の順番は関係ありません。

-以上-